

浜辺の坂道に麓の波  
迷路のように入り組んだ狭い路地  
辻からのぞく新鮮な風景

# 裏路地探険

歴史と海辺の入り組んだ路地／浜坂町



右から読むたばこ屋の横文字看板

針屋ののれん

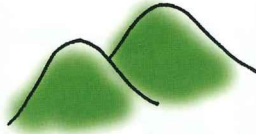
イカの一夜干し



レトロなタイトルのショーウインドウ

現役の気圧計

芦屋城跡  
小刀・硯・永楽銭などが出土



正面に城山が見える路地

トコ箱が並ぶ魚屋さん

芝居小屋兼映画館があった屋敷

木製のテラスの施しがかわいい

現在は閉じられた銭湯  
男湯・女湯の札が  
かけられたまま

迷子になってしまいそうなくらい入り組んだ路地

針屋さん  
大きなのれんがかかっている  
格子も見事な店構え

酒屋さん  
タイトルのショーケースがレトロ

外敵から守った鏝製の四辻  
浜坂の市街で一番高い付近

湯釜  
温泉たまごができる

大温泉  
ユートピア浜坂

大正時代に建てられた漁業者の青年会館  
気圧計が窓ガラスから読める  
現在も、漁師さんに利用されている

イカ釣りの釣り針が  
軒に干してある

漁業者が出漁の  
天候をみた岡見

日本の白砂青松百選に選ばれた  
浜坂県民サンビーチ

昭和30年代まで、電宮さんに  
奉納相撲が行われていた浜辺

大きな石灯籠

電宮さんの祠

イカの一夜干し



## あじはら小径～旧市街地・御屋敷町周辺

味原川に沿って石垣並みが続くあじはら小径は、約300年続いた旧家を改修した浜坂町先人記念館「以命亭」などがある落ち着いた歴史を感じさせる一角。御屋敷町周辺は、なだらかな丘陵地に民家がぎっしりと建ち並ぶエリア。狭く入り組んだ路地が浜辺へと続きます。その昔、豊岡藩のお蔵所があった所。今では漁師町独特の風情を残しています。

「浜坂」の地名に由来するように「浜」に「坂」のあるまち、日本海に流れ込む岸田川の河口近くには、こんもりとした丘陵地がひろがっています。迷路のように入り組んだ路地にぎっしりと家が建ち並び、浜辺の坂道に麓の波が続く独特の町並みをつくり出しています。

陸路が発達するまでは、岸田川河口は回船業で栄え、港は町の玄関口として賑わっていました。中世には山名氏の将、塩治氏が芦屋城を構え、江戸時代には豊岡藩の管轄にあり、浜坂にお蔵所が置かれました。江戸後期より縫い針業がおこると、商業とともに隆盛を極め、町屋や庄屋屋敷など、当時の面影を彷彿とさせる町並みが残されています。

なだらかな丘陵地の裾に沿うように流れる味原川のほとり、あじはら小径に、その静かな佇まいを見ることが出来ます。味原川は、岸田川河口にそそぎ込む川。舟だまりがあり船が着きました。大水や海が荒れた時には、この川に面する各道に引き入れ避難したと言われています。高い石垣に白壁、立派な構えの家が並びます。浜坂町「以命亭」もこ

## 「夢」の出会いを求めて

脚本家・元生茂樹

人はこの世に生を受けて「く」なるまでに、およそ一万人以上の人と出会うそうです。人との巡り合いほど不思議なものはありません。私は、そんな出会いの偶然からその何万分の一の確率で、湯村温泉の朝野家さんという旅館を知りました。

湯村温泉の名前についてはすでに知っていましたが、たまたま私が訪れることになったのは、今年五月の大阪新歌舞伎座で、天童よしみさんのお芝居を書くことになり、その芝居の舞台が旅館だったので、下調べに行ったのです。

舞台となる適当な場所を探すうちに、「関西の温泉のことなら、朝野家の会長に聞けば詳しく教えてくれるよ」というので、それを頼りに訪れたのがきっかけでした。

「旅館業をしていて何がうれいのかと申しますと、こんな田舎に住んでいて、見ず知らずの方とたくさん会えることです」と言われた会長の言葉が私の胸に残り、台本を書き終えた時、いつの間にか舞台は湯村温泉で、旅館は朝野家、主人は会長さんの名をお借りしていたのでした。

人との出会いは星の数ほどあっても、光輝けるほどの出会いにすることは容易ではありません。しかし、たった一度の人生なら、劇場という箱ですてきな出会いができるようにしたいものです。

朝野家社内報より抜粋



夢千代の里—湯村温泉

朝野家  
TEL 0796(92)1000  
http://www.asanoya.co.jp

の一角にあります。明治の教育者、森梅園の生家で、約300年10代にわたって、商業と酒造業を営んでいた家屋を改修したもので、浜坂の歴史や文化を伝える資料館となっています。

あじはら小径から細い坂道を上がり、湯量豊富な天然温泉「ユートピア浜坂」の前を通り、少し進むと坂道のほぼ頂上、カギ型の辻につきあたります。外部からの侵入を防ぐためにつくられた複雑な路地の一つです。狭く入り組んだ路地に、多くの民家が密集して建っています。なつかしい風景と新しいものが混在する不思議なリズム。何年も佇んでいる蔵の傍らに、竹輪の製造工場、漁師町で栄え、新しい町の産業として発展した縫い針業の針屋ののれん。現在は閉められた町屋の銭湯。トコ箱が並んだ魚屋さん。浜へ向かって坂道を下るにも、路地はさらに迷路のように交差していきます。迷い込んだ角にタイトルのウインドウケースのある酒屋さんを発見。

やがて、路地を下りて行くと浜へと抜ける気配、海が見える辻には竜宮さんが祀られています。回船や漁業など海を生業とする



人々は、えびすさん、竜宮さん、柱松の荒神さんなど、神々への厚い信仰心を持っていました。それは感謝という心で、何か事業がある度に「おかげなわ」といって、一日共同出漁をし、その水揚げによってまかなってきたと言います。昭和30年代まで、浜辺では、竜宮祭りに奉納相撲が行われていました。竜宮さんの側にある青年会館も大正の頃、漁業青年団と漁業者者によって建てられたもの。ガラス越しには、海の天候を予測する気圧計が据えられています。今でも漁師さんが、のぞき込みその目盛りを読みます。

海と係わってきたまち。何年も変わることなくある風景や路地に、同じような時の流れを感じる事ができます。辻につきあたるとのにおもしろく、左右を見回すと昔からあるものなのに、新鮮で興味深い空間として飛び込んできます。協力：浜坂町

●裏路地探険隊員募集

11月27日(土)大屋町探険  
天海の麓、三階建て民家が建ち並ぶ風情ある町並みを歩く  
\*実施日の10日前までに、18ページ掲載のT2編集部へ住所・氏名・年齢・電話番号を記入の上、ハガキでお申し込みください。

探険隊員 あじはら小径を行く

濱坂町先人記念館「以命亭」約300年の歴史を持つ旧家を改修したもの。浜坂の歴史や文化を伝える資料館

井戸 人面魚の鯉が主のようにいる

大イチョウの木

明治43年鉄道院総裁後藤新平手植えの松

アーチ型の煉瓦積み塀の山陰線工事に使用した煉瓦の残りで作られたもの

泉源 湯けむりがたちのぼる

黒い貝、川二ナがいっぱいいる

舟だまり、岸田川の河口へ

太鼓橋 小魚がたくさん群をなして泳ぐ

駐車場

味原川 小さなせせらぎ

あじはら小径 遊歩道に整備されている

丸型の石が円錐状に積み上げられている

為登(いと) 昔、川水を生活用水として使うための石段各道ごとに清水の湧く井戸と共に設けられていた

猫のんびり ウロウロしている

畑

高い石垣に白壁の塀のある旧家が続く

太鼓が釣り下げた西光寺の山門

傾斜した坂道に家が建っている

焼き竹輪屋さん

松の木

針工場

濱坂町先人記念館「以命亭」の横の路地から坂をのぼる

案内をしていただいた 濱坂町先人記念館「以命亭」館長・下田英郎さん

SeaLand

シーランドスタジアム  
2000年3月18日オープン

城崎マリンワールド  
兵庫県豊岡市瀬戸 1090 ● tel.0796-28-2300